



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月14日

上場会社名 株式会社 安永
コード番号 7271 URL <http://www.fine-yasunaga.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安永 暁俊

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 長谷川 恵一

TEL 0595-24-2122

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	25,917	8.2	1,388	30.8	1,248	89.6	984	259.7
29年3月期第3四半期	23,951	7.7	1,061	296.9	658		273	

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,029百万円 (%) 29年3月期第3四半期 212百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	82.31	
29年3月期第3四半期	22.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	35,548	11,382	32.0	951.43
29年3月期	33,389	10,520	31.5	879.38

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 11,382百万円 29年3月期 10,520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		4.00		7.00	11.00
30年3月期		7.00			
30年3月期(予想)				5.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,800	2.3	1,420	3.4	1,250	11.0	950	178.0	79.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	12,938,639 株	29年3月期	12,938,639 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	975,309 株	29年3月期	975,277 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	11,963,347 株	29年3月期3Q	11,963,362 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の回復や国内需要の持ち直しを背景に、雇用環境は着実に回復しており、個人消費についても堅調な推移が見られました。しかしながら、朝鮮半島情勢や物価上昇に伴う実質購買力の低下などの懸念材料により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

当社グループの主要販売先である自動車業界は、国内市場については新型軽自動車や新型スポーツ用多目的車(SUV)の販売が好調で堅調に推移しました。一方、海外市場では、米国で2017年の新車販売台数が前年比1.8%減少し、また中国でも新車販売の伸びは鈍化しており、先行きは不透明な状況となっています。

このような企業環境下、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高259億17百万円(前年同期比8.2%増加)、営業利益13億88百万円(前年同期比30.8%増加)、経常利益12億48百万円(前年同期比89.6%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益9億84百万円(前年同期比259.7%増加)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

【エンジン部品事業】

海外子会社における生産が概ね堅調に推移したものの、国内生産が減少した結果、売上は微減となりました。一方、国内生産におけるプロダクトミックス等により営業利益は減少しました。その結果、売上高153億35百万円(前年同期比0.1%減少)、営業利益3億90百万円(前年同期比40.8%減少)となりました。

【機械装置事業】

国内自動車業界の旺盛な設備投資意欲を受け、工作機械の販売が順調に推移しました。また、車載IC用検査測定装置の受注も前期に引き続き好調を維持しています。利益面でもプロダクトミックス等により営業利益は黒字に転じました。その結果、売上高75億68百万円(前年同期比37.1%増加)、営業利益6億46百万円(前年同期は35百万円の営業損失)となりました。

【環境機器事業】

欧州向けエアポンプの販売減少に加え、集合住宅向けディスポーザシステムの販売が減少したことにより、売上高及び営業利益は減少しました。その結果、売上高27億35百万円(前年同期比3.6%減少)、営業利益3億23百万円(前年同期比17.9%減少)となりました。

【その他の事業】

当セグメントには、運輸事業及びサービス事業を含んでおります。

売上高2億78百万円(前年同期比12.6%増加)、営業利益34百万円(前年同期比27.0%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ21億59百万円(前連結会計年度末比6.5%)増加し、355億48百万円となりました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ19億87百万円(前連結会計年度末比11.5%)増加し、192億40百万円となりました。

この増加の主な要因は、現金及び預金の増加19億47百万円、仕掛品の増加6億19百万円や受取手形及び売掛金の減少8億14百万円等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1億71百万円(前連結会計年度末比1.1%)増加し、163億7百万円となりました。

この増加の主な要因は、有形固定資産の増加1億61百万円等によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ22億42百万円(前連結会計年度末比16.0%)増加し、162億25百万円となりました。

この増加の主な要因は、短期借入金の増加11億円、支払手形及び買掛金の増加7億60百万円や1年内返済予定の長期借入金の増加4億39百万円等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ9億44百万円（前連結会計年度末比10.6%）減少し、79億41百万円となりました。

この減少の主な要因は、長期借入金の減少8億9百万円や社債の減少1億10百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ8億61百万円（前連結会計年度末比8.2%）増加し、113億82百万円となりました。

この増加の主な要因は、利益剰余金の増加8億17百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年7月19日に公表した数値から変更しております。詳細につきましては、平成30年2月14日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,625	5,573
受取手形及び売掛金	6,000	5,186
電子記録債権	941	518
商品及び製品	1,193	1,484
仕掛品	3,385	4,005
原材料及び貯蔵品	1,358	1,413
繰延税金資産	20	118
未収入金	342	504
その他	390	435
貸倒引当金	△5	△0
流動資産合計	17,253	19,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,275	11,891
減価償却累計額	△6,830	△7,025
建物及び構築物(純額)	4,445	4,865
機械装置及び運搬具	25,909	26,142
減価償却累計額	△21,889	△21,965
機械装置及び運搬具(純額)	4,019	4,176
工具、器具及び備品	5,733	5,747
減価償却累計額	△5,424	△5,445
工具、器具及び備品(純額)	309	301
リース資産	2,307	2,480
減価償却累計額	△403	△619
リース資産(純額)	1,904	1,860
土地	2,254	2,267
建設仮勘定	1,471	1,093
有形固定資産合計	14,405	14,566
無形固定資産	47	48
投資その他の資産		
投資有価証券	625	773
繰延税金資産	47	36
その他	1,018	889
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	1,683	1,693
固定資産合計	16,136	16,307
資産合計	33,389	35,548

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,268	5,028
電子記録債務	415	545
短期借入金	3,650	4,750
1年内返済予定の長期借入金	1,798	2,238
1年内償還予定の社債	220	220
未払金	1,879	1,966
リース債務	358	401
未払法人税等	455	128
賞与引当金	551	304
工事損失引当金	9	11
設備関係支払手形	7	27
その他	369	602
流動負債合計	13,982	16,225
固定負債		
社債	550	440
長期借入金	6,098	5,288
リース債務	1,578	1,525
繰延税金負債	117	143
役員退職慰労引当金	45	44
環境対策引当金	7	12
退職給付に係る負債	413	411
資産除去債務	75	75
固定負債合計	8,886	7,941
負債合計	22,868	24,166
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	2,114	2,114
利益剰余金	6,444	7,262
自己株式	△330	△330
株主資本合計	10,371	11,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	233	348
繰延ヘッジ損益	-	△42
為替換算調整勘定	126	65
退職給付に係る調整累計額	△211	△177
その他の包括利益累計額合計	148	193
非支配株主持分	0	0
純資産合計	10,520	11,382
負債純資産合計	33,389	35,548

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	23,951	25,917
売上原価	20,486	21,919
売上総利益	3,465	3,997
販売費及び一般管理費	2,403	2,608
営業利益	1,061	1,388
営業外収益		
受取利息	4	8
受取配当金	6	7
受取賃貸料	15	14
為替差益	-	51
違約金収入	72	-
受取補填金	-	42
その他	24	26
営業外収益合計	123	151
営業外費用		
支払利息	111	120
為替差損	336	-
減価償却費	40	3
操業準備費用	-	49
違約金損失	-	85
その他	37	33
営業外費用合計	526	291
経常利益	658	1,248
特別利益		
投資有価証券売却益	-	0
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産売却損	10	0
減損損失	-	13
固定資産除却損	11	3
特別損失合計	22	16
税金等調整前四半期純利益	636	1,232
法人税、住民税及び事業税	253	354
法人税等調整額	109	△106
法人税等合計	363	248
四半期純利益	273	984
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	273	984

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	273	984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89	114
繰延ヘッジ損益	-	△42
為替換算調整勘定	△615	△61
退職給付に係る調整額	39	33
その他の包括利益合計	△486	44
四半期包括利益	△212	1,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△212	1,029
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,346	5,519	2,838	23,704	247	23,951	—	23,951
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	119	0	119	380	499	△499	—
計	15,346	5,638	2,838	23,824	627	24,451	△499	23,951
セグメント利益 又は損失(△)	660	△35	393	1,018	47	1,065	△3	1,061

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,335	7,568	2,735	25,638	278	25,917	—	25,917
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	438	—	438	367	805	△805	—
計	15,335	8,006	2,735	26,077	645	26,722	△805	25,917
セグメント利益	390	646	323	1,360	34	1,395	△6	1,388

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△6百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。